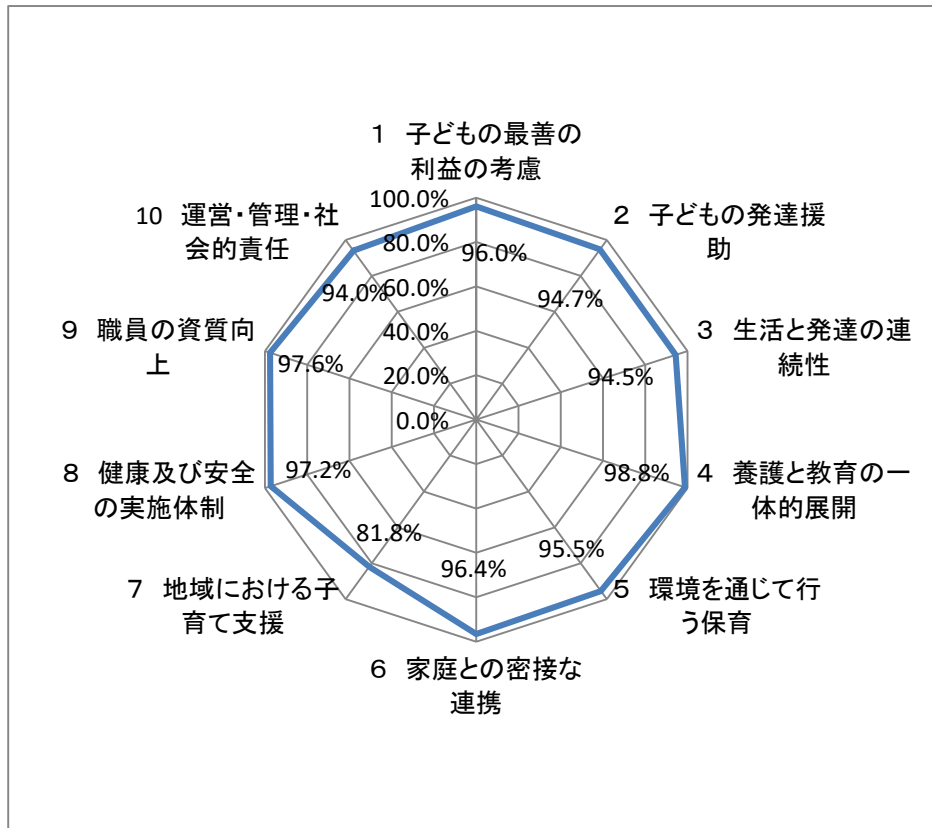


令和7年度 保育所自己評価の結果について

令和8年3月16日
ゆうゆうきッズ横浜

1 職員の自己評価（令和8年2月実施） （「十分理解している」・「理解していると」回答した割合）



2 取り組み状況

（努力した点）

- ・子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育に取り組んだ。戸外活動では近隣公園や屋上園庭にあわせ、園内ホールなども活用し、多くの遊びから運動量の確保に努めた。
- ・職員研修の充実を図り、先駆的に取り組んでいる他園の見学や姉妹園との関わりを深め、職員が主体的に業務の改善に取り組むことが出来た。また朝の活動を縦割り保育の枠組みとして取り入れ全職員が年齢の異なる多くの児童と関わる機会を創出した。
- ・安全管理委員会において遊具等の安全点検や嘔吐処理、乳幼児対象の救命救急法・AED操作・熱性けいれんの対応、エピペンの使用法などを継続的に学んだ。
- ・地域連携、交流を図るため、避難訓練の際に消防署・警察署との模擬訓練を行い、また社会福祉施設や小学校への訪問、地元高校生の職業体験ボランティアを受け入れた。

（課題・改善点）

- ・保護者との信頼関係を深め「子どものしあわせとお父さんお母さんの子育てを支援します」という保育理念をより一層、職員に浸透させ推進していけるよう努力していく。
- ・縦割り保育の実施により、異年齢特有の危険やストレスを察知し、現場全体を観察する目が求められるため、保育者個々の保育技術を更に磨いていく。